

## 区基本計画

### 区基本計画について

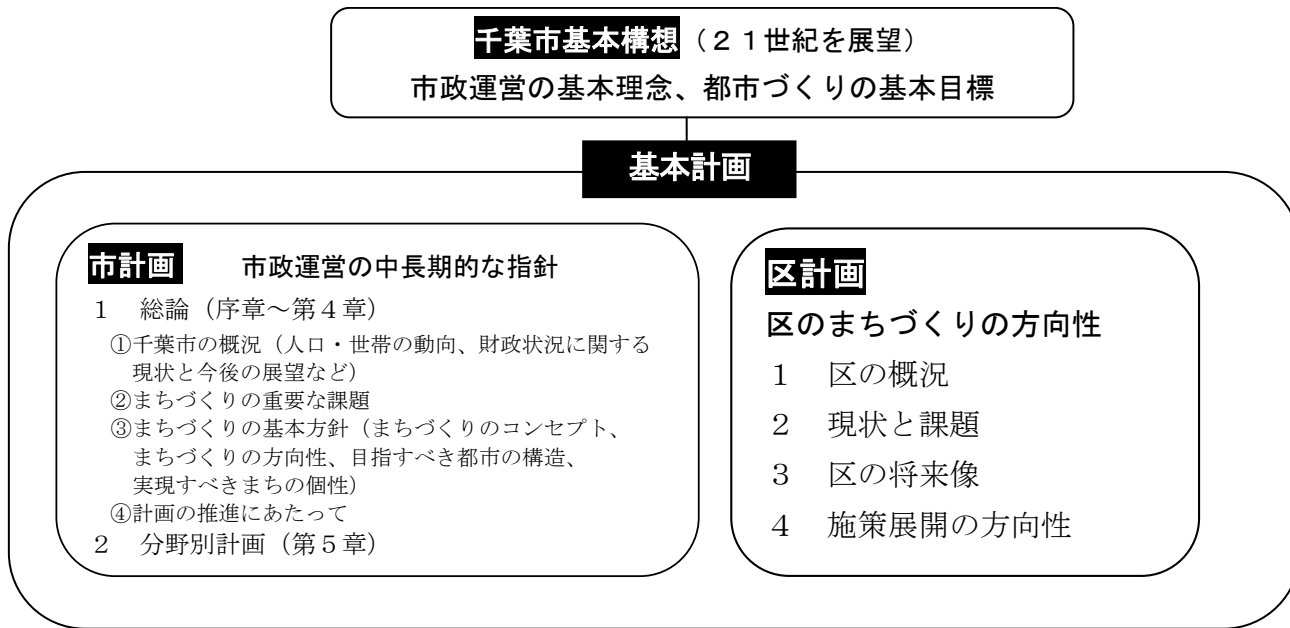
#### 1 策定の目的 (113 ページ)

市民に身近な区の特性を活かしたまちづくりに向けて、各区のまちづくりの方向性を示す新たな区基本計画(以下「区計画」という。)として策定しました。

#### 2 区計画の位置付け (113 ページ)

市基本計画(以下「市計画」という。 )は、千葉市基本構想に掲げる基本理念や都市づくりの基本目標を受け、市政運営の中長期的な指針として、全市的な視点からまちづくりの方向性を示しています。

一方、区計画は、市計画の「まちづくりの重要な課題」や「まちづくりの基本方針」などを踏まえ、区ごとの特色や課題に応じ、市民に身近な行政としての区役所が特に取り組むべき施策などを位置づけています。



#### 3 区計画の構成・内容 (114 ページ)

区計画の構成は、以下のとおり、各区とも同一としていますが、その中で、内容や様式等について、区民検討会の意見を取り入れ、それぞれの区の個性や特色を出しています。

区分	内容
区 の 概 況	区の沿革や地域資源、人口・世帯の見通しといった、区の基本的な情報を示しています。
現 状 と 課 題	まちづくりの前提となる、区の現状や課題を整理しています。
区 の 将 来 像	今後10年間で区が目指すべき将来像(まちづくりの目標)を示しています。
施策展開の 方向性	区の将来像を実現するため、まちづくりにおいて、区役所が特に取り組むべき施策などを示しています。

#### 4 区計画の推進 (114 ページ)

(1)まちづくりはみんなの力で進めていきます。

まちづくりは、区民や地域、団体、企業、区役所など、みんなの力を結集して進めていきます。

(2)10年後の未来を目指した計画です。

「区の将来像」の実現を目指し、将来的な区役所機能の強化も視野に、今後10年間で本計画に取り組んでいきます。

### 中央区基本計画

#### ■現状と課題 (119 ページ)

- 魅力ある資源 (魅力ある市街地形成、中心市街地の活性化、中央港地区の特性を活かしたにぎわい・憩いの場の創出)
- 少子超高齢化 (地域コミュニティづくり、元気高齢者の地域活動への参画、子どもを安心して産み育てられるまちづくり等)
- 人々のにぎわい (業務・商業の中心地としてにぎわいあるまちづくり、モノレールの利用促進、民間バス路線の維持)
- 暮らしの安全・コミュニティ (地域防犯活動の活性化、安全・安心で住みやすい環境づくり、災害時の正確な情報伝達と誘導及び迅速な救援物資の確保、地域コミュニティの活性化、区民が自主的に地域のことを考え、課題解決に取り組む意識の高揚)
- 観光・文化・スポーツ (プロスポーツチームの積極的PR、区民とジェフユナイテッド市原・千葉が連携したスポーツを核としたまちづくり等)

#### ■区の将来像 (122 ページ) 「都心のにぎわいと人々の優しさを感じるまち 中央区」

#### ■施策展開の方向性 (123 ページ)

- 安全・安心な中央区をつくる (1)防犯対策の推進、(2)防災対策の推進
- 支えあいによる住みやすい中央区をつくる (1)ふれあい・支えあい・安心のまちの構築、(2)高齢者がいきいきと生活できるまちづくりの推進、(3)安心して子どもを産み、育てられる環境の整備
- 千葉の顔としての魅力ある中央区をつくる (1)魅力的な資源の再発見と活用、(2)区民文化の創造、(3)スポーツによる魅力づくり
- 活力のにぎわいに満ちた中央区をつくる (1)産業活性化への支援、(2)中心市街地などの活性化、(3)海辺を活かしたにぎわいの場づくり
- みんなの力で中央区をつくる (1)区民意識の高揚と地域コミュニティの活性化、(2)まちづくりへの区民参加の推進、(3)協働拠点としての区役所の機能強化

### 花見川区基本計画

#### ■現状と課題 (131 ページ)

- 人口と世帯 (人口は減少傾向、ベッドタウンの性格が顕著)、2 土地利用 (大規模な住宅団地、市街化調整区域の大部分は農地・山林・古くからの集落)、3 自然環境・文化・スポーツ～魅力ある地域資源の活用 (緑の空間の魅力を回復、郷土文化を大切にする)、4 こども・高齢者～少子超高齢化への対応 (地域ぐるみの子育て支援の仕組みづくり、元気な高齢者が地域で活躍できる仕組みづくり)、5 生活環境・地域交通～安全・安心で人にやさしいまちづくり (災害時における地域の協力体制の必要性、自主防災組織の組織率向上、暮らしに密着した交通利便性の確保など)、6 交流・コミュニティ～地域コミュニティの活性化 (町内自治会やボランティアなどによる活動の輪の拡大、外国人市民との相互理解)、7 産業～地域のにぎわいづくり (遊休農地の活用、高齢者が気軽に買い物をできる環境づくり)

#### ■区の将来像 (135 ページ) 「みんなの力で 川と緑と笑顔が輝くまち 花見川区」

#### ■施策展開の方向性 (136 ページ)

- 豊かな自然と文化が花ひらくまち (1)恵まれた自然環境の整備・保全、(2)地域に残る伝統行事の振興、(3)地域の文化資産の保全と活用
- こどもや高齢者の笑顔が花ひらくまち (1)子育てしやすい環境づくり、(2)高齢者の心豊かな暮らしづくり、(3)健康づくりの支援
- 安全と安心が花ひらくまち (1)地域ぐるみの防災・防犯活動の充実、(2)バリアフリー化の推進、(3)暮らしに密着した公共交通網の充実
- 心と心のつながりで花ひらくまち (1)地域活動の活性化と協働の推進、(2)思いやりのあるコミュニティづくり
- にぎわいと元気で花ひらくまち (1)地域産業のブランド力の向上、(2)地域の特性を活かした農業の活性化、(3)地域の商業活動の活性化

## 稲毛区基本計画

### ■現状と課題 (145 ページ)

1 少子超高齢社会に対応できる暮らしづくり (高齢者が地域活動に生きがいを持って参加し暮らせる仕組みづくり、ボランティアの育成と活動支援、地域で支えあう子育ての仕組みづくり等)、2 人のつながりを大切にするコミュニティづくり (住民同士のつながりの希薄化、多様な世代の自助・共助のもと協力し支えあう仕組みづくり)、3 地域の資源を活かした稲毛区らしいまちづくり (文教のまちの特性を活かした交流・連携、イベント等による区民の交流・連携等)

### ■区の将来像 (148 ページ) 「思いやりと笑顔があふれ 人・地域・文化が交流する 文教のまち 稲毛区」

#### ■施策展開の方向性 (149 ページ)

- 1 人にやさしく 誰もが安心して暮らせる 安全なまちづくり<安全・安心> (1)地域ぐるみで安全・安心なまちづくりを進める、(2)安全で利便性の高い交通基盤の充実を図る
- 2 豊かな心がかよい 世代を超えて支えあう 福祉のまちづくり<福祉> (1)安心して住み続けるための地域福祉活動を進める、(2)生きがいを持ち、自立した生活が送れるまちづくりを推進する、(3)心身ともに元気に暮らせるための健康づくりと医療体制の充実を図る
- 3 自然や環境にやさしく 緑あふれるうるおいのある 住みよいまちづくり<環境> (1)大切な自然環境を活用しながら保全する、(2)都市の緑化を進める、(3)まちの美化活動やリサイクル活動を進める
- 4 地域の暮らしに根ざした 活力ある産業をはぐくむまちづくり<産業> (1)商店街の再生と活性化を図る、(2)新たな産業を生み出す仕組みづくりを進める、(3)地域と企業がともに歩む環境づくりを進める
- 5 伝統・文化などの地域資源を大事にし 人・地域・学校が活発に交流する とともに輝くまちづくり<文化・教育> (1)地域ではぐくんだ伝統を守るとともに、新たな文化の創造を図る、(2)学校が持つ知的・人的資源を活用し、地域とともに成長を図る

## 若葉区基本計画

### ■現状と課題 (159 ページ)

- 1 人口・世帯 (6区で最も進展する高齢化への対応)
- 2 生活基盤 (交通ネットワークの、さらなる利便性の向上を図る必要)
- 3 産業 (農業・農村の魅力を知ってもらう必要、商業の衰退は、高齢化の進展に伴い買い物など市民生活に影響)
- 4 安全・安心 (地域の主体的取組みを強化する必要、災害時の支えあい体制を様々な世代の参加により築く必要)
- 5 健康福祉 (家族や身近な地域における交流・支えあいの弱体化、6区で最も進展する少子化への対応)
- 6 自然環境 (自然環境の保全、区民が自然とふれあう場の充実、自然環境の魅力を積極的に情報発信し、有効活用)
- 7 地域資源 (魅力的な地域資源を積極的に情報発信し、有効活用)
- 8 地域コミュニティ (区役所のコーディネート機能の充実、元気な高齢者を地域で活かす仕組みづくり)

### ■区の将来像 (162 ページ) 「豊かな自然環境と地域資源を活かし 魅力と活力と誇りのあるまち 若葉区」

#### ■施策展開の方向性 (163 ページ)

- 1 区民一人ひとりが担うまちづくり (1)様々な主体の連携強化、(2)元気な高齢者が活躍できる環境づくり
- 2 とともに支えあい、ともにはぐくむまちづくり (1)地域福祉の環境づくり、(2)子どもを産み、育てやすい環境づくり、(3)健康に暮らせる環境づくり
- 3 安心して便利に暮らせるまちづくり (1)地域の防災・防犯機能の向上、(2)暮らしの基盤の維持・充実、(3)地域経済の活性化
- 4 愛着と誇りを持てるまちづくり (1)豊かな自然環境の活用、(2)地域資源の魅力向上と活用、(3)農業・農村を地域資源として活用

## 緑区基本計画

### ■現状と課題 (175 ページ)

- 1 地域コミュニティの充実・再生 (区外からの転入者が多く、地域のつながりを持ちにくい、子育て世代や元気な高齢者が多いなどの魅力を活かし切れていない)、2 緑を活かしたまちづくり (豊かで恵まれた自然の魅力を活かし切れていない)、3 子育てをしやすい環境の整備 (「住み続けたい」と感じてもらうため、子育てしやすい環境整備が必要)、4 こども・高齢者・障害のある人にやさしいまちづくり (こども・高齢者・障害のある人との交流が十分でなく、これを促進し、相互理解を深める必要)、5 交通問題への対応 (高齢者等の交通難民が、気軽に出かけられない状況)、6 地域特性を活かしたまちづくり (特性の異なる地域が共存し、一律の課題認識による施策展開が困難)

### ■区の将来像 (178 ページ) 「豊かな自然と地域の特性を活かし みんなが助けあい 住み続けたいまち 緑区」

#### ■施策展開の方向性 (179 ページ)

- 1 世代を超え、人々が交流し、助けあうまちづくり (1)自治会をはじめとする住民同士の交流の促進、(2)こどもと高齢者・障害のある人との交流の促進、(3)地域で高齢者がいきいきと活躍できる機会の充実、(4)コミュニティ活動の場づくりの促進
- 2 緑を活かしたまちづくり (1)地域の自然や公園等の魅力の発信、(2)区民とともに推進する公園・里山の活用
- 3 子育てのしやすいまちづくり (1)子育て世代が参加しやすい地域コミュニティづくりの推進、(2)世代間交流による子育て支援、(3)働きながら子育てができる環境づくり、(4)子育て支援制度の利用促進
- 4 暮らしやすく、住み続けたいまちづくり (1)身近な支えあいの仕組みづくり、(2)地域ぐるみの防災・防犯活動の充実、(3)地域の伝統と文化の継承、(4)地域と共に考える交通対策、(5)こどもの参画の推進
- 5 地域の特性を活かしたまちづくり (1)地域ごとの魅力と特性の活用

## 美浜区基本計画

### ■現状と課題 (189 ページ)

- 1 魅力ある資源の有効活用 (海辺や既存施設などの有効活用・魅力の周知、プロスポーツのホームタウンとしてまちぐるみで盛り上げること、企業・大学との連携)、2 未来を展望した取組み (子育て世代への支援、幕張新都心のにぎわい維持・向上のため、企業と地域がつながりを深め、ともにまちを育てる)、3 超高齢社会への対応 (集合住宅に住む高齢者等への対応等)、4 身近な地域でのつながりと支えあい (地域コミュニティの充実・再生、多文化共生、身近な拠点機能の活用・強化、災害対策の充実)

### ■区の将来像 (192 ページ) 「美しい浜辺と様々な交流のある みんなで創るにぎわいと活力のあふれるまち 美浜区 ~住んでみたいまち、ずっと住みたいまちを目指して~」

#### ■施策展開の方向性 (193 ページ)

- 1 海辺を活かしたにぎわいのあるまちづくり (1)海辺の環境保全、(2)海辺の魅力の発信、(3)集客による活性化、(4)海辺の新たな魅力づくり
- 2 魅力ある住み心地のよいまちづくり (1)魅力的な都市イメージの創出、(2)子育て環境の整備、(3)こどもの参画推進、(4)整備された街並みの魅力の発信
- 3 誰もがいきいきと安全・安心に暮らせるまちづくり (1)高齢者の地域活動への参加促進、(2)生きがいづくりの推進、(3)健康づくり活動支援、(4)ニーズに即した支援の提供、(5)地域活動による防犯・防災機能の強化
- 4 世代や組織を超えた交流の盛んなまちづくり (1)多世代交流の活性化、(2)外国人市民の地域への積極的な参加促進、(3)地域と企業・大学との連携、(4)多様な人材の育成、(5)区役所機能の強化

#### 美浜区の個性を高める2つの取組み

- 1 団地の再生 (1)日常生活支援の促進、(2)子育てを応援する団地づくり、(3)外国人市民と共生する地域づくりの推進、(4)団地再生活動の促進
- 2 幕張新都心の魅力の向上と活用 (1)国際性を活かした地域づくり、(2)千葉ロッテマリーンズとの連携、(3)幕張新都心の魅力の発信、(4)企業との連携によるまち育て